

## 中濃農林事務所の普及活動状況 令和4年10月25日現在

### ぎふ農業・農村を支える人材育成

#### ■岐阜県女性農業経営アドバイザー（GLAMA） 全体研修会

10月24日、GLAMAいきいきネットワーク研修会が白川村で開催され、県内の女性農業経営アドバイザー・関係者合わせて80名が参加した（武儀地区会員は4名が参加）。

今年度の県連事務局である飛騨ブロックが企画し、“持続可能な農業の未来とは”をテーマに、吉野GPファーム白川農場への経営訪問やトヨタ白川郷自然学校でのひだの農業紹介などが行われた。現場研修は3年振りで、アドバイザー相互の交流を図ることができ、充実した研修となった。

農業普及課では、アドバイザーの自主的な組織活動を引き続き支援していく。  
(地域支援係)



【経営訪問】

#### ■農業大学校 派遣学習出発式

岐阜県農業大学校では、2年生の学生が先進農家の現場で実際の農業の体験を通し経営実践能力の向上を目指す「先進農家派遣学習」を重要なカリキュラムとして位置付けている。

今年、中濃農林事務所管内では、学生2名がそれぞれ(株)ふる里農園美の関と(株)紫屋で学習する。10月3日から1ヶ月間の派遣学習の初日に、(株)ふる里農園美の関の研修室で出発式が開かれ、受け入れ農家、学生、学生の保護者、農業大学校、中濃農林事務所農業普及課長が出席した。

農林事務所から受け入れ農家を紹介し、学生は派遣学習の計画について説明、受け入れ農家から励ましの言葉がかけられた。受け入れ農家では、学習初日からいちごの定植、さつまいもの収穫作業が予定されており、学生は式終了後直ぐに現場での学習に取り掛かった。

派遣学習期間中に農業大学校と現場を巡回し、学習状況を確認、農村青少年の育成を見守ることとしている。  
(地域支援係)



【受け入れ農家の激励】

### 安心で身近な「ぎふの食」づくり

#### ■水稻（採種） 生産物審査

農業普及課では、水稻採種ほ場の生産物審査を実施している。

生産物審査とは、ほ場審査を合格したほ場の籾の発芽勢および発芽率を審査するもので、発芽率90%以上が合格となり、種子として利用される。

生産物審査では、基準に基づき、籾の休眠打破を行い、シャーレに播種して25℃恒温器にて発芽勢および発芽率を調査している。

今年度は5品種255サンプルを審査する計画であり、水稻採種事業補助員を活用しながら、適正に生産物審査を実施し、水稻優良種子の確保につなげていく。  
(地域支援係)



【生産物審査】

## ■水稲 「みのにしき」原原種生産（収穫・調製）

水稲品種「みのにしき」は、関市の民間育種家が育成した極大粒の良食味米で、昭和58年に品種登録され、昭和62年に岐阜県奨励品種に決定するなど、中濃管内を中心に作付けされている。

育成者にて原原種が生産されてきたが、高齢により継続が困難となり、今年産より地元の小瀬採種組合が生産を継承している。

10月6日に、小瀬採種組合、JAめぐみの、農業普及課が参加して、原原種生産ほ場の稲刈り作業が行われ、バインダー式稲刈機で刈取り、結束し、乾燥のためはざ掛けした。

乾燥後の10月24日、小瀬採種組合と農業普及課にて、県農業技術センターの機械を借りて、脱穀、風選、篩かけ等の作業を他の品種と混ざらないよう慎重に行い、38kgを袋に詰めて製品として完成した。

農業普及課では、今年度の原原種生産の結果をまとめ、次回（3年後を予定）生産も円滑に行われるよう支援していく。  
(地域支援係)



【収穫作業】

## ぎふ農畜水産物のブランド展開

### ■さつまいも 出荷目揃会

JAめぐみのさつまいも生産組合では、加工業務用さつまいもの産地化を目指して、取り組んでいる。

9月27日、出荷開始に先立ちJAめぐみの富加支店にて、目揃会が開催された。事前に試し掘りした芋を見ながら、出荷規格を確認した。生産者からは「この場合はA品か、B品か」といった質問が多く出され、組合員間で積極的に規格の目揃えが行われた。

農業普及課からは、収穫・選別作業時の注意点、次年度に向けた基腐病等の病害虫対策について説明を行った。

農業普及課では、今後も関係機関と連携を図りながら、栽培技術の向上や組合組織活動の支援を行っていく。  
(地域支援係)



【出荷規格の確認】

### ■キウイフルーツ ほらどキウイ目揃会

JAめぐみのほらどキウイフルーツ生産部会は、10月14日に洞戸キウイ選果場で目揃会を開催した。部会員はJA担当者のもと、出荷に係る目合わせとして、出荷階級の区分や日焼け果、奇形果等の障害果の取り扱いについて説明を受けた。

部会では、品種「ヘイワード」を栽培しているが、味や品質で勝負できる産地として、有機質肥料へのこだわり等、特色のある栽培を進めている。農業普及課では、取り組みの支援として、補助事業を活用した土壌診断の実施について説明した。

今後は、診断結果を基に有機質肥料への切り替えや施肥量の提案を行い、取り組みを支援していく。  
(地域支援係)



【目揃会】